

平成 29 年 11 月 28 日

一般社団法人航空機操縦士育英会の設立と 無利子貸与型奨学金「未来のパイロット」の創設について

□ 一般社団法人航空機操縦士育英会（以下：「操縦士育英会」）は将来の希望職種にパイロットを希望しながらも、訓練費の高額さから就学機会を困難としている学生に対し、無利子貸与型奨学金を創設し、平成 30 年度から開始することとしました。

LCC（Low Cost Carrier）の台頭や航空旅客の増加、また航空機の小型化などにより世界規模でパイロット需要が増しているといわれております。航空大学校に於いては平成 30 年度入学者を 1.5 倍の 108 人に増やすことが決まり、国を挙げてパイロットの養成が急務であることが分ります。

そこで、パイロットを養成する私立大学等の民間養成機関は、パイロットを志す学生が経済的負担によりその夢を諦めることのないよう、操縦士育英会を設立し新たな奨学金制度を創設することで支援することになりました。貸与型奨学金（一人当たりを総額 500 万円で 10 年返済）の保証手数料にあたる運営費用は、民間養成機関とエアラインが協力のもとで負担を補う取り組みになっております。

操縦士育英会の「未来のパイロット」奨学金制度は、「観光立国」の鍵を握るパイロットの養成に貢献できるものと考えております。

【参加民間養成機関】

桜美林大学、東海大学、崇城大学、千葉科学大学、日本航空大学校、新日本航空株式会社

【協力エアライン】

A N A ホールディングス（株）、日本航空（株）

【貸与人数と貸与学】

1 学年あたり、計 25 人程度（養成機関ごと 3～5 人）、それぞれ総額 500 万円を貸与

□

【問い合わせ先】

一般社団法人航空機操縦士育英会

電話：042-373-3733（直通）

FAX：042-797-7981

メールアドレス：pilot@obirin.ac.jp

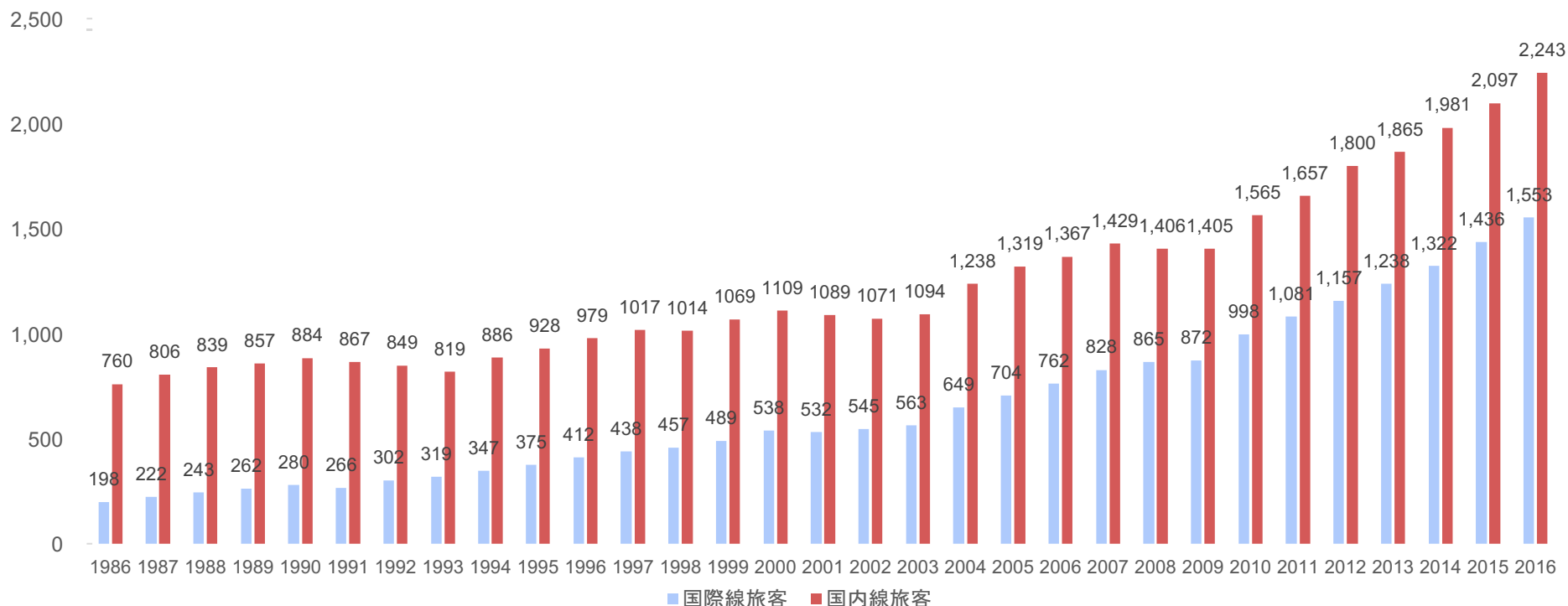
航空需要の増大

○世界的に航空需要が増大している中で、「明日の日本を支える観光ビジョン」において訪日外国人旅行者数の目標が倍増されていること等から、パイロットの養成が急務となっていることから、国においてもエアライン操縦士の年齢上限の引上げなど、各種施策により民間におけるパイロットの養成・確保を促進している。

○このような中で、私立大学等民間養成機関は航空大学校や自社養成と並び、操縦士の供給源の一つとなっており、今後の供給拡大が期待されている。

世界の航空旅客数の推移

(百万人)



出典: ICAO, Annual Report of the Council

私立大学等における操縦士養成の背景(2)

■ 私立大学等民間養成機関における高額な学費負担

○一方で、私立大学等民間養成機関における操縦士の育成においては、定員が満たされていない大学もあるが、この背景として、学生の高額な訓練費等の負担がパイロットを目指す若者のハードルの一つとなり、経済的負担によって民間養成機関における操縦士コース等に進学できないことも一つの要因として考えられる。

○民間養成機関の中には、学生の学費負担を軽減するため、学科を問わず門戸を広くした奨学金制度を設けている大学等もあるが、操縦士コースに特化した奨学金制度はまだ少ない。

○このような中、直近7年間の6大学(桜美林大学、東海大学、法政大学、崇城大学、千葉科学大学、第一工業大学)における操縦士コースの定員充足率は、75%程度となっている。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
定員数(人)	130	130	130	150	150	150	150
入学者数(人)	80	69	72	100	138	141	143
定員充足率(%)	61.5%	53.1%	55.4%	66.7%	92%	94%	95%



■ 私立大学等民間養成機関における対応

○このような状況を踏まえ、平成26年8月に設置された航空機操縦士養成連絡協議会に設置された学費負担軽減WGにおいて、産官学と連携して、奨学金の創設について検討を実施。

○この結果、平成30年度より、エアライン2社の協力も得て、本事業の趣旨に賛同した私立大学等6つの民間養成機関のパイロット学生に対して訓練費に当たる費用について無利子貸与する制度を創設し、平成30年度から開始。

奨学金事業の概要(1)

- 民間養成機関(私立大学等)を構成員とした(一社)航空機操縦士育英会(運営主体)を設立。
- 運営主体が学生1人当たり500万円の奨学金を無利子貸与。
- 運営に必要な経費を民間養成機関とエアライン(ANAホールディングス、JAL)で負担。今後運営主体の理事にはエアラインも就任予定。

1. 参加民間養成機関

私立大学：桜美林大学、東海大学、崇城大学
千葉科学大学
専門学校：日本航空大学校
訓練事業者：新日本航空（株）

2. 選定基準

入学試験の成績、大学在学中の成績、TOEFL等による英語能力、操縦免許を取得するための必要な学科試験の合格状況等により判定（詳細は各民間養成機関により異なる）

3. 対象人数

当面1学年あたり計25名程度（対象となる全ての民間養成機関における合計人数）

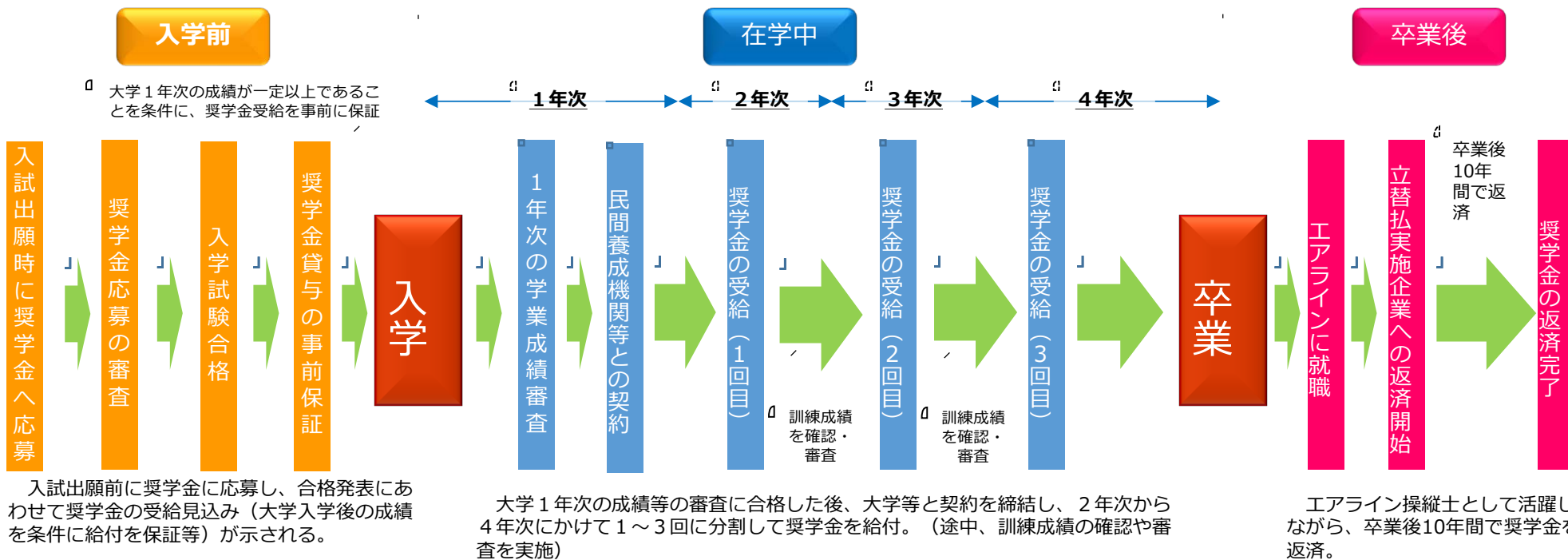
4. 貸与額等

1人当たり500万円を1～3回に分けて貸与（無利子）
卒業後10年間で立替払実施企業に返済

5. 運用開始時期

平成30年度（在生学生も対象として開始）

奨学金の受給から返済までの流れのイメージ（民間養成機関により、一部異なる場合がある。）



奨学金事業の概要(2)

桜美林大学(定員:30名)

推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	3年次4月	3年次9月	4年次4月
5	100万円	200万円	200万円

崇城大学(定員:20名)

推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	2年次9月	3年次4月	3年次9月
5	100万円	200万円	200万円

日本航空大学校(定員:10名)

推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	2年次9月	3年次4月	—
3	250万円	250万円	—

東海大学(定員:50名)

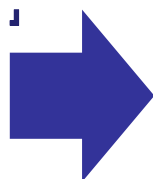
推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	2年次4月	—	—
2	500万円	—	—
3	2年次9月	—	—
	500万円	—	—

千葉科学大学(定員:10名)

推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	1年次3月	2年次3月	3年次9月
3	100万円	200万円	200万円

新日本航空

推薦枠(人)	奨学金交付時期及び交付額(奨学生1人あたり)		
	渡米直前	JCABの事業用 操縦士免許訓練 開始まで	JCABの多発 計器飛行証明 取得訓練開始 まで
3	150万円	150万円	200万円



訓練費の負担を軽減することにより、パイロットを目指す学生の裾野を広げ、夢の実現を応援！